

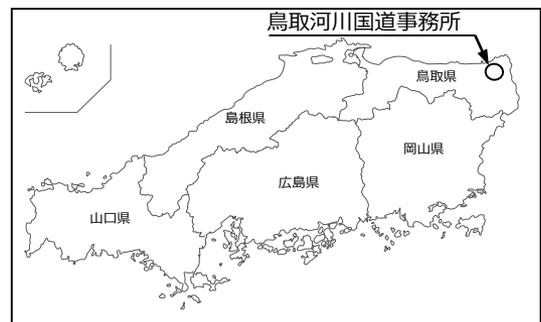
令和6年度
鳥取河川国道事務所事業概要



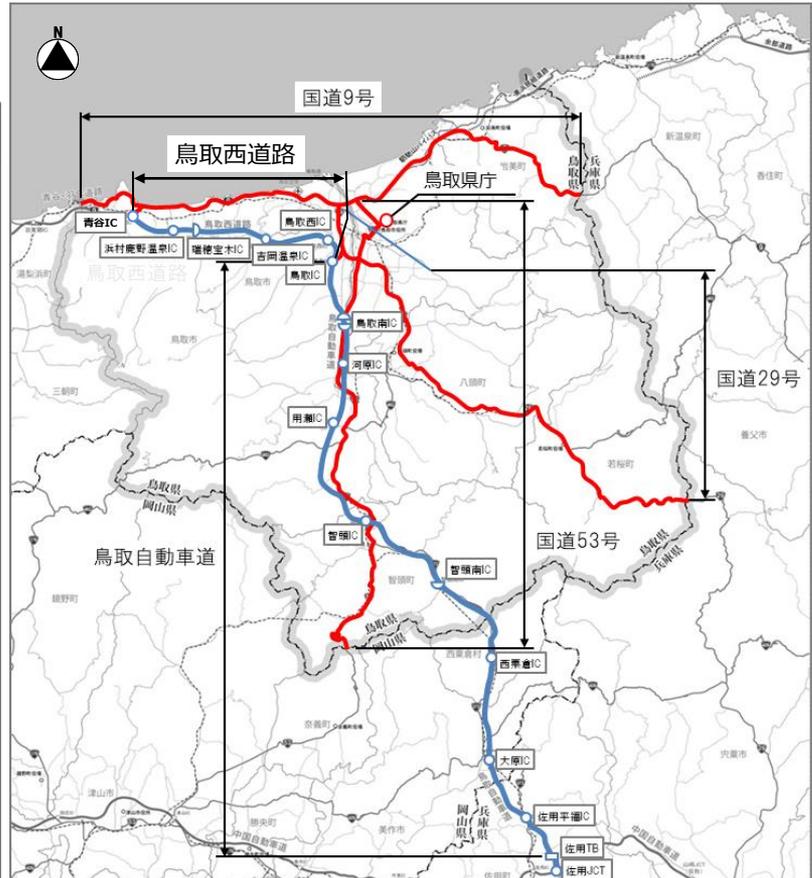
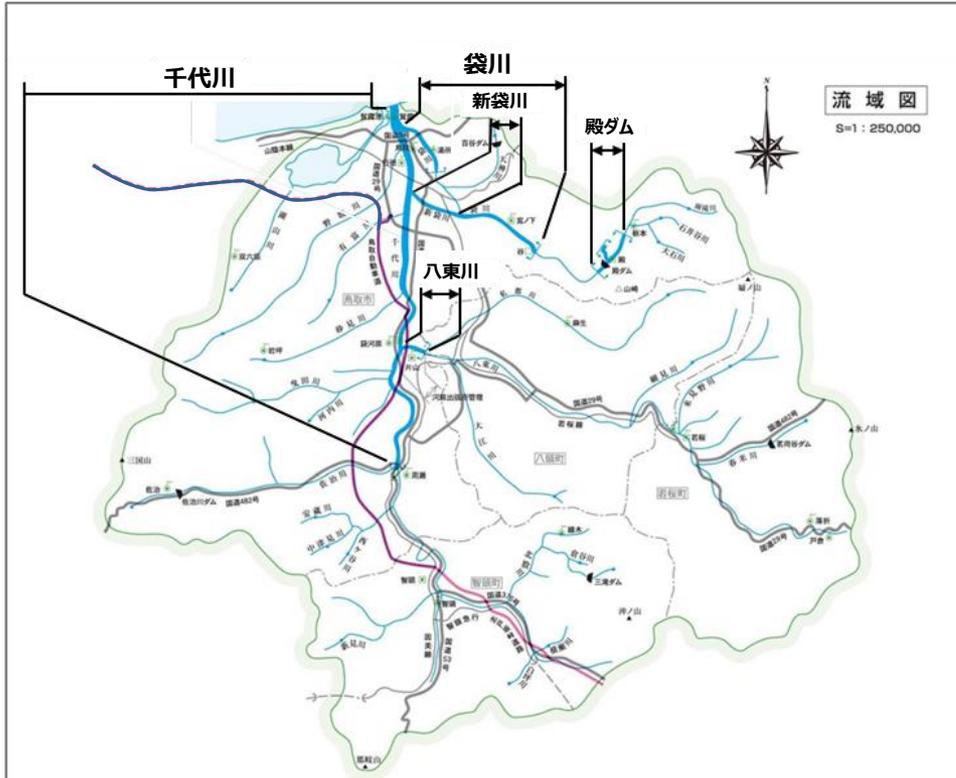
国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

1. 管理区間

河川名	管理延長 (km)	路線名	管理延長 (km)
千代川	26.0	国道9号	70.6
袋川	9.9	国道29号	49.2
八東川	1.3	国道53号	46.6
新袋川	3.2	鳥取自動車道	61.8
合計	40.4	合計	228.2

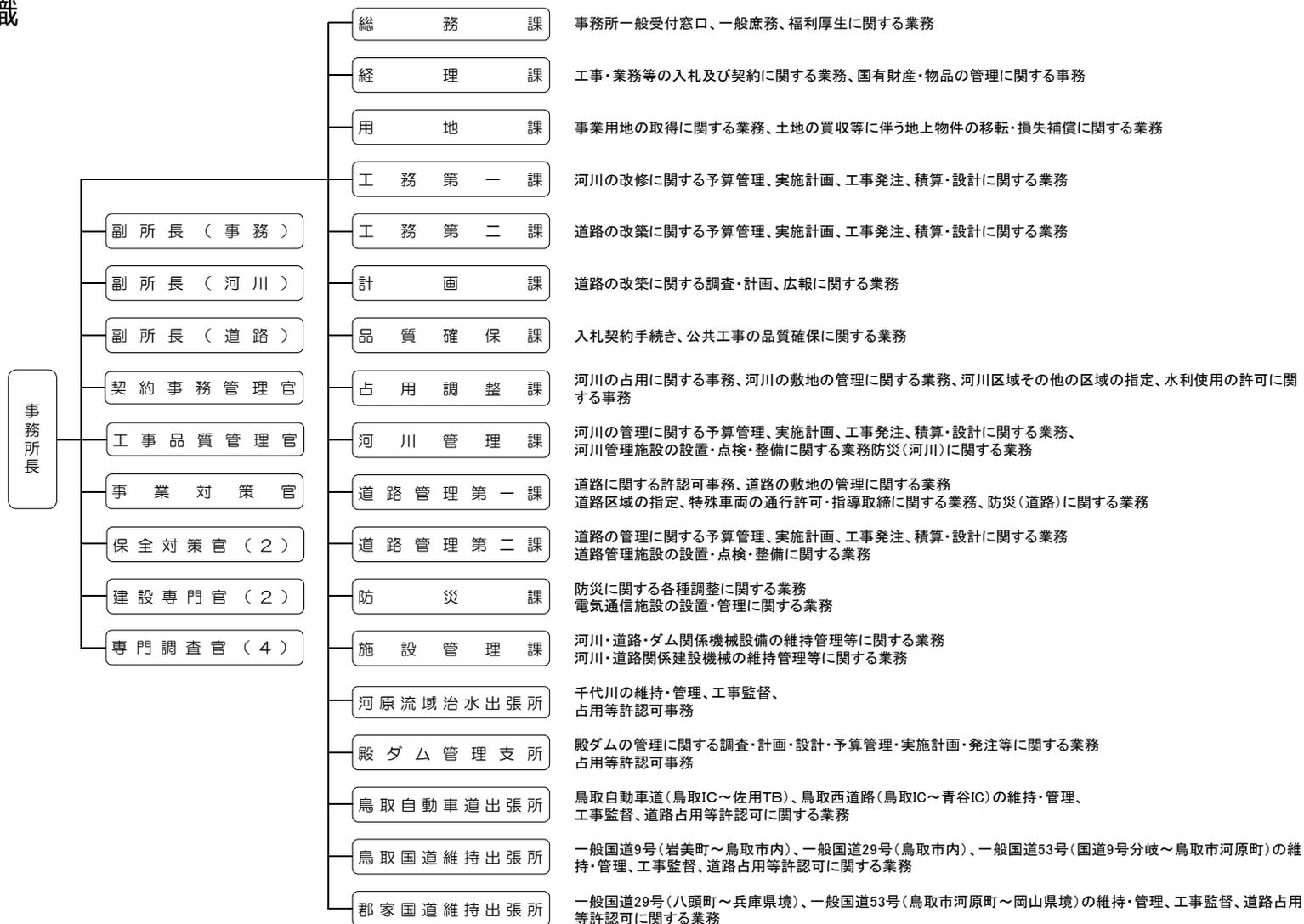


- ※河川の管理延長に、ダム区間は含まない。
- ※国道9号の延長70.6kmには、鳥取西道路の延長19.7kmを含む。
- ※鳥取自動車道の延長61.8kmには、国道373号（志戸坂峠道路）の延長18.7kmを含む。
- ※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



2. 組織及び人員

■ 組織



■ 人員

職員数	82名	事務	25名
		技術	57名

令和6年4月時点

3. 予算

(3) 予算

◆令和6年度予算（当初）

事務所全体 約21億円（対前年 0.99） 100%

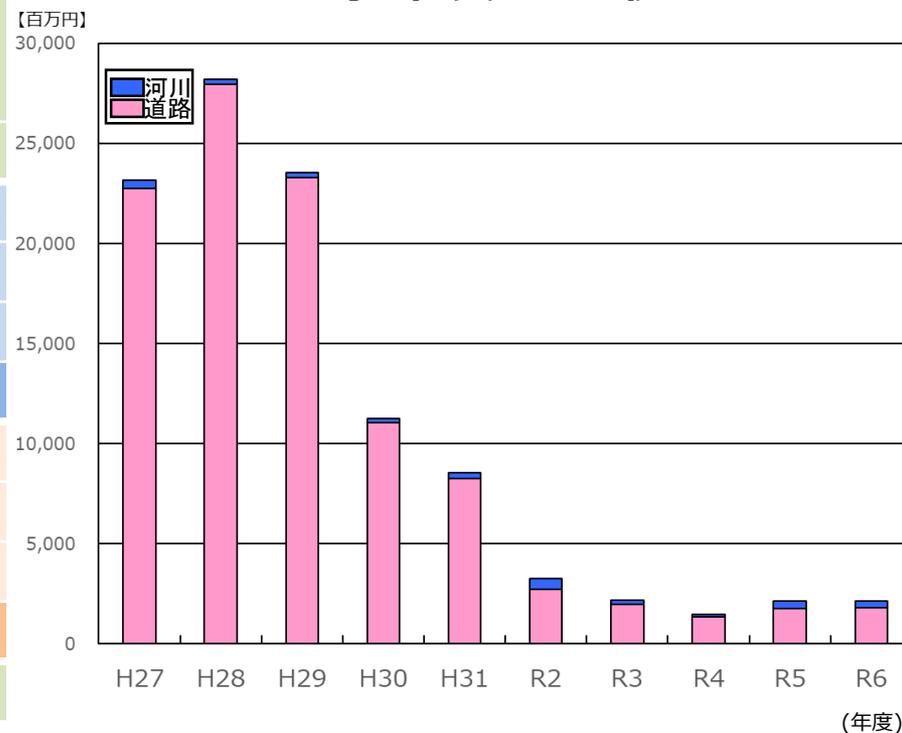
○ 河川 約3億円（" 0.89） 約14%

○ 道路 約18億円（" 1.02） 約86%

事業費の比較

		事業費（単位：百万円）		対前年比 (①/②)
		R6年度 (当初)	R5年度 (当初)	
		①当初	②当初	当初
河川事業	改修	162	141	1.15
	環境整備	102	140	0.73
	応急対策	58	80	0.73
	小計	322	361	0.89
道路事業	改築	1040	961	1.08
	交通安全	545	594	0.92
	電線共同溝	220	220	1
	小計	1805	1,775	1.02
合計		2127	2,136	0.99

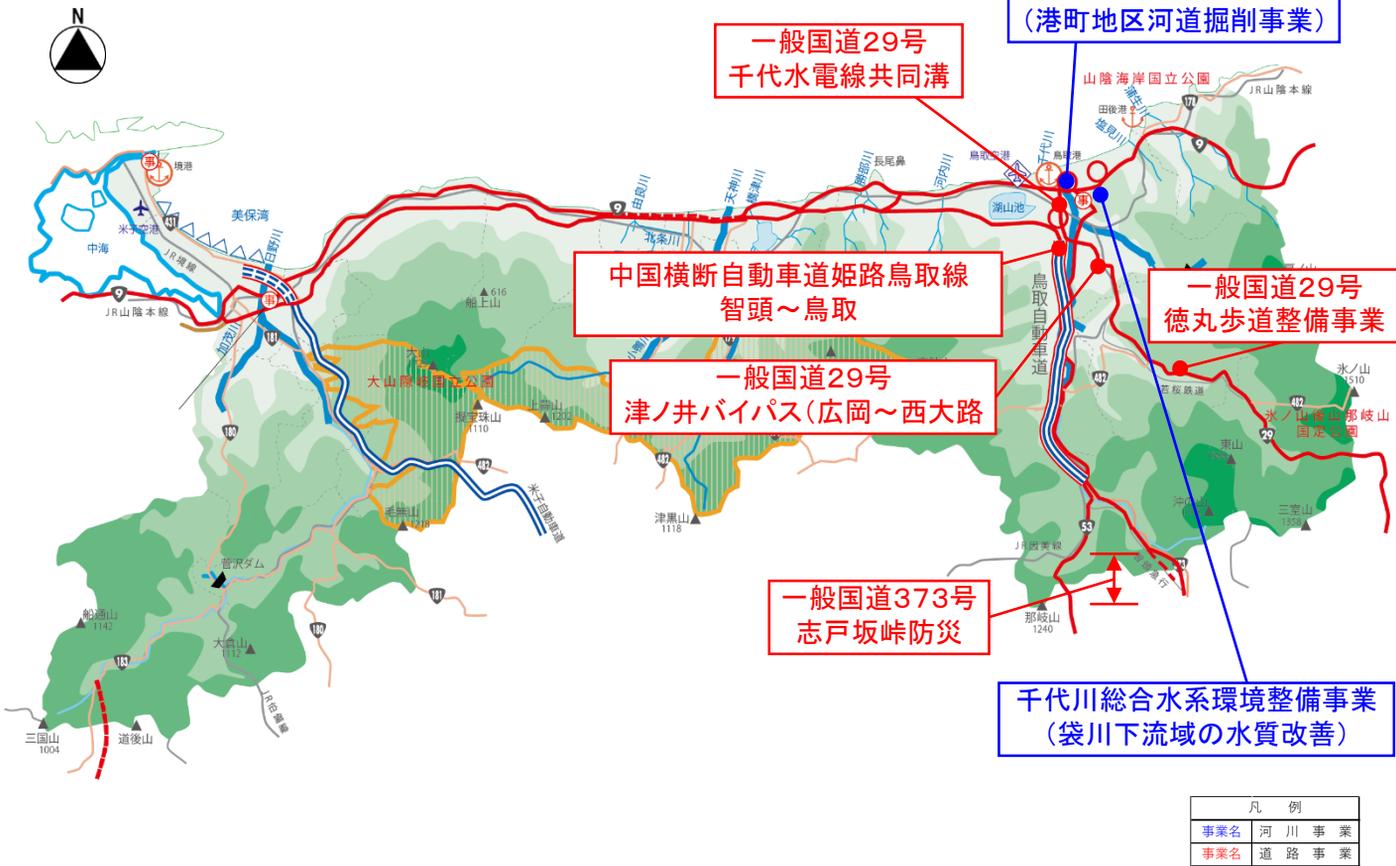
事業費の推移



- 注) 1. 計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがある。
 2. 事業費には、調査費、業務取扱費・災害復旧費を含まない。
 3. 上記予算の他に、河川維持修繕費、堰堤維持費、総合流域防災対策事業費、道路維持管理費等がある。

4. 主要事業箇所

<位置図>



事業名	事業分類	完成予定年度等	ページ
千代川河川改修事業(港町地区河道掘削事業)	河川	新規着手	P 5
千代川総合水系環境整備事業(袋川下流域の水質改善)	河川	事業推進	P 6
一般国道373号 志戸坂峠防災	道路	事業推進	P 7
中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取	道路	事業推進	P 8
一般国道29号 津ノ井バイパス(広岡～西大路)	道路	新規着手	P 9
一般国道29号 徳丸歩道整備事業	道路	新規着手	P 10
一般国道29号 千代水電線共同溝事業	道路	事業推進	P 11

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

港町地区においては、流下断面が確保されておらず、早期に整備を完了させる必要があります。当該地区の浸水範囲内には鳥取市街地があり、ひとたび氾濫した場合には甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、「港町地区河道掘削事業」として、河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

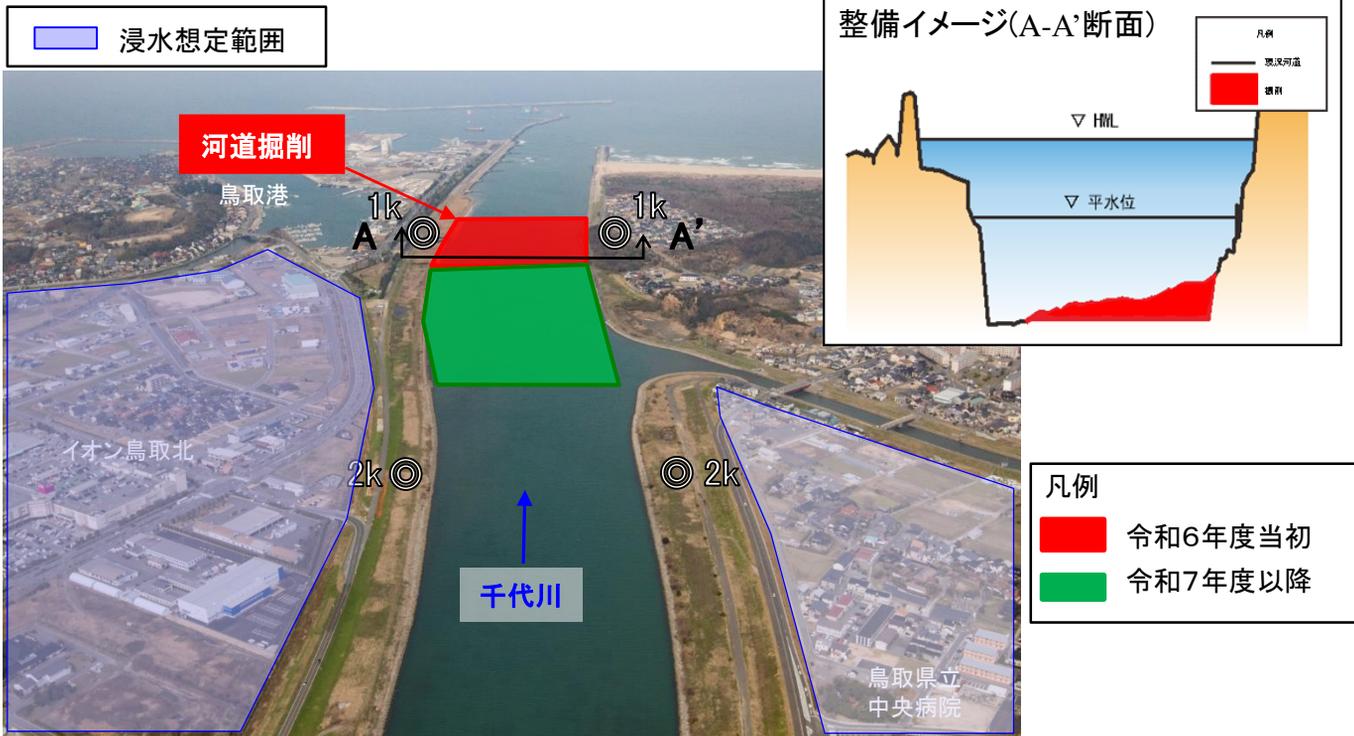
とっとりし みなとまち

鳥取県鳥取市港町地先



3. 令和6年度 予定事業内容

港町地区において、河道掘削等を実施します。



4. 期待される整備効果

河道掘削を実施することで、事業完了後に周辺地域の洪水氾濫による浸水被害が防止・軽減されます。

千代川総合水系環境整備事業

事業費102百万円

～袋川下流域の水質改善～

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

袋川下流域は背後地に鳥取市街地が控えています。千代川下流域の水質と比べると、水質が悪く、川底には有機泥がたまり、水質悪化の要因となっています。

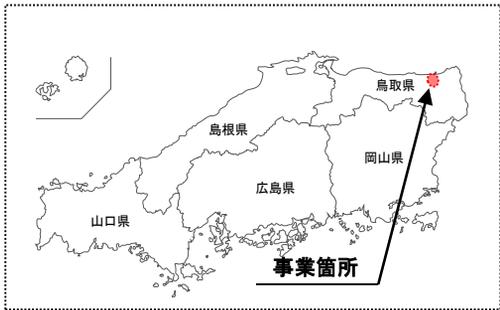
流水が少ない時期には、浮遊物等が漂流し、悪臭が発生することもあり、地域住民からは水質改善の要望が強く、県、市、地元と連携して水質系善に取り組んでいます。

国土交通省は底泥を除去することにより、水質改善を図ります。

2. 事業箇所

とっとりし えづ ゆどころちよう

鳥取県鳥取市江津～湯所町地先



3. 令和6年度 予定事業内容

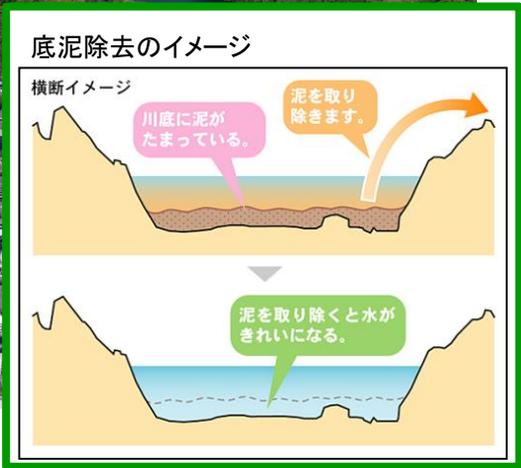
底泥除去を実施します。



4. 期待される整備効果

底泥を除去することにより悪臭の発生を改善します。

水質が改善することにより、水面利用や散策などの利用が見込まれます。



1. 事業の必要性及び概要

志戸坂峠防災は、鳥取県東部、岡山県北部、近畿圏との連絡性の強化と速達性の確保、冬期における交通機能の確保及び交通事故の減少と災害発生時の代替路確保等を目的とした延長5.0kmの自動車専用道路です。

事業推進

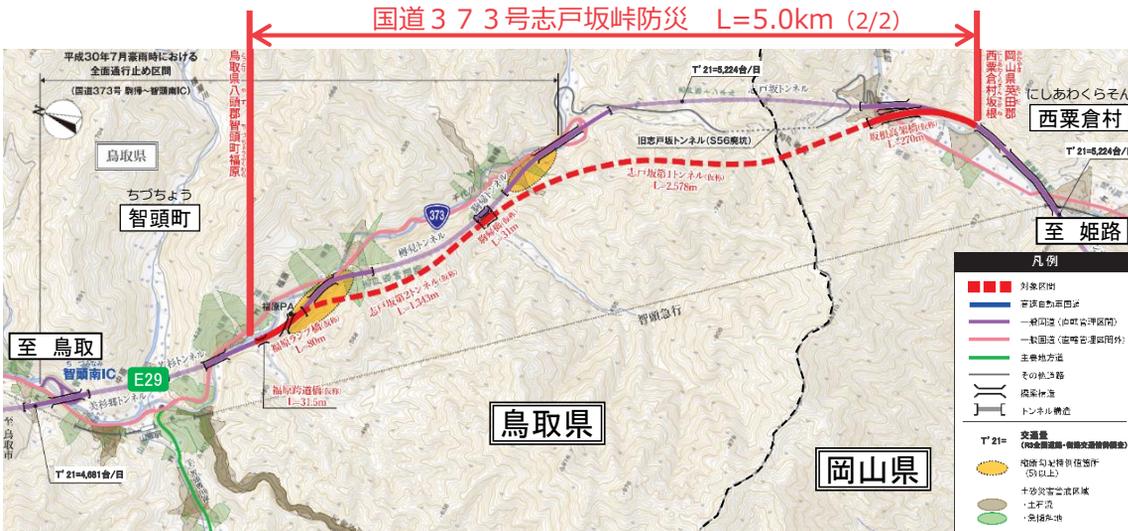


2. 事業箇所

岡山県英田郡西粟倉村坂根～鳥取県八頭郡智頭町福原

3. 令和6年度 予定事業内容

調査設計、用地買収を推進します。



冬期車両立ち往生の状況



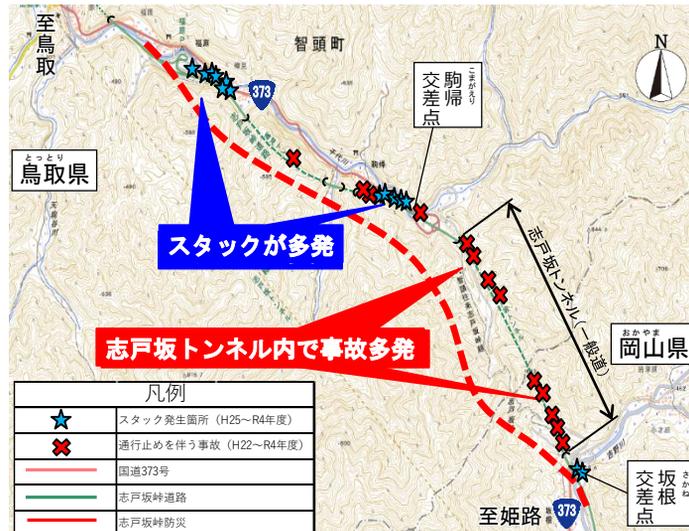
志戸坂トンネル内での単独事故



4. 期待される整備効果

- 平成29年1月に発生した大雪による、立ち往生車両により、南北交通が約48時間麻痺しました。道路線形の改善により、同様の立ち往生車両の発生を抑制します。
- 志戸坂峠道路の一部区間の一般道区間に集中している交通事故を減少させます。
- 当該道路が代替路として機能することで大幅な迂回解消に繋がります。

防災課題箇所位置図



中国横断自動車道姫路鳥取線 智頭～鳥取

事業費333百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

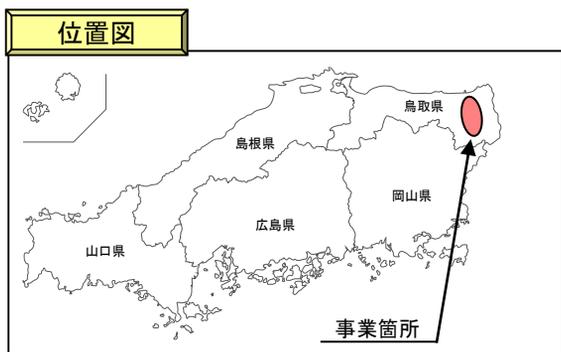
中国横断自動車道^{ひめじ とっとり}姫路鳥取線では、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

鳥取県^{や ず ぐ ん ち づ ち ょ う い ち の せ}八頭郡智頭町市瀬～鳥取市^{も と だ か ち づ と っ と り}本高(智頭IC～鳥取IC)

3. 令和6年度 予定事業内容

令和6年度は、鳥取南IC～鳥取IC間の舗装工事及び道路付属施設工等を推進します。



写真① 智頭IC上り線 (R2.6完成)

工事状況写真



写真② 施工状況(下味野地区)



写真③ 施工状況(北村地区)



一般国道29号 津ノ井バイパス(広岡～西大路)

事業費50百万円

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

津ノ井バイパス(広岡～西大路)は、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び救急医療活動の支援を目的とした延長2.8kmの道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市広岡～鳥取県鳥取市西大路



3. 令和6年度 予定事業内容

調査設計に着手します。

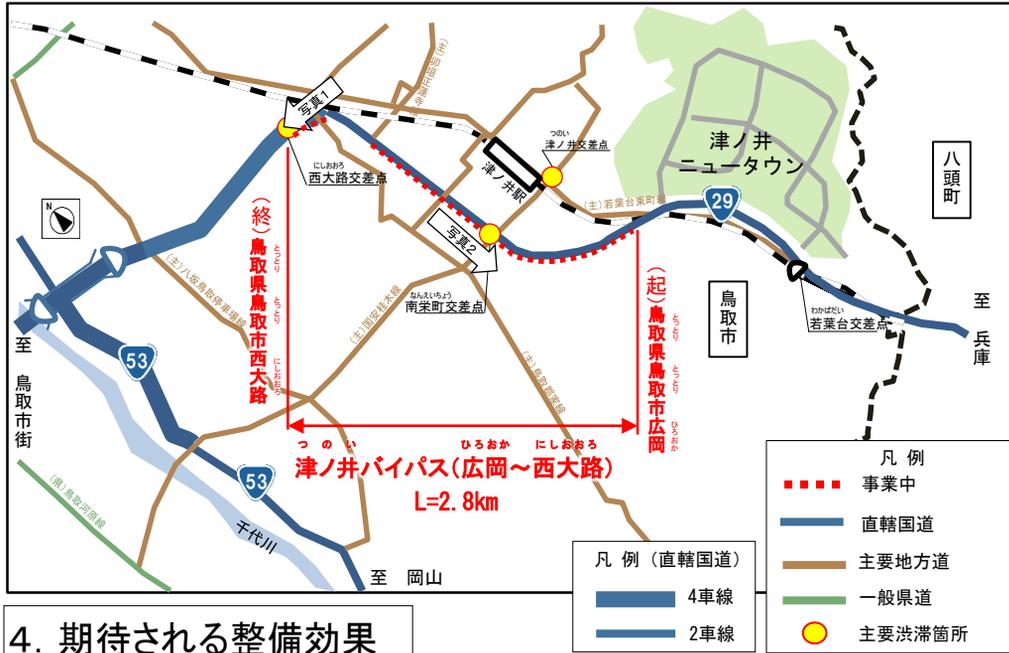


写真1 西大路交差点の混雑状況



写真2 南栄町交差点の混雑状況

4. 期待される整備効果

交通混雑の緩和

津ノ井バイパス周辺には、複数の工業団地が立地しており、電気機械メーカーをはじめとして、多数の企業が進出しています。

交通混雑の緩和により、物流の円滑化が図られ、地域産業の活性化が期待されます。



新規着手

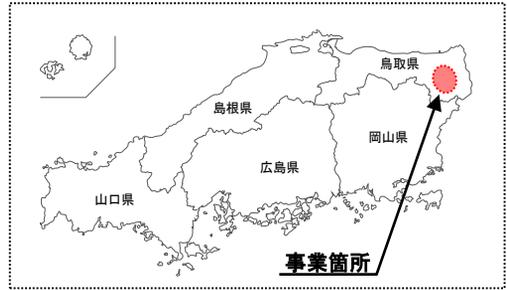
1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、小学生がバス通学となっておりますが、国道の現況歩道幅員が狭く危険なため、近傍の道の駅にあるバス停まで北側の町道を利用し通学している状況です。ただし、北側の町道も住宅が密集しており歩道が無い^{しもとくまる}ため、危険な状況です。また、中学生は下徳丸口バス停を利用^{しもとくまる}してのバス通学となっておりますが、下徳丸口バス停はバス停留所が無く危険な状況です。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、歩道拡幅及びバス停留所整備を行い、安全安心な歩行者空間の確保を図るものです。

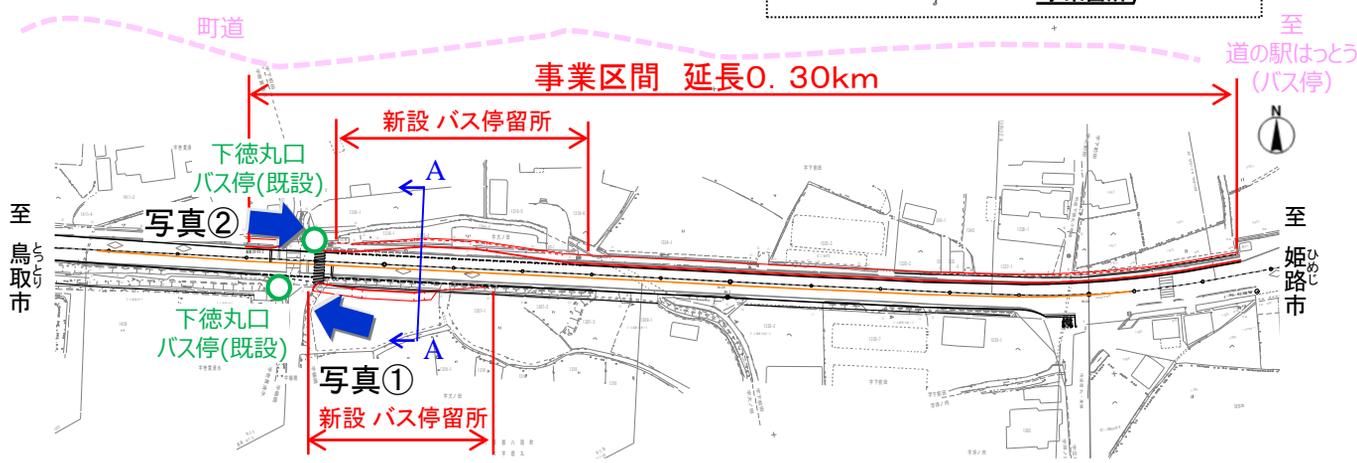
2. 事業箇所

鳥取県 ^{やず やず とくまる} 八頭郡八頭町徳丸

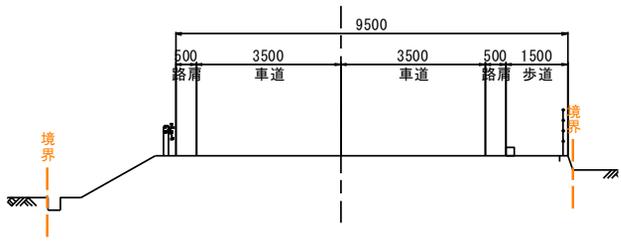


3. 令和6年度 予定事業内容

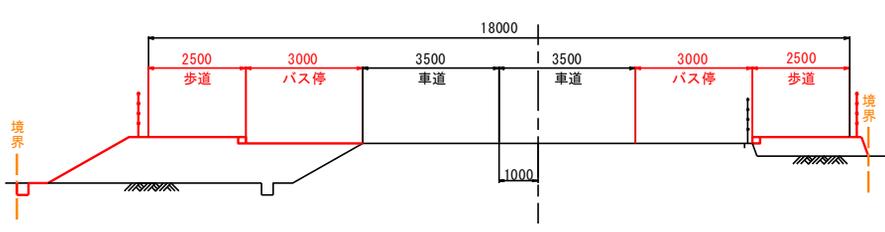
調査設計に着手します。



A-A断面【現況】 (単位:mm)



A-A断面【計画】



一般国道29号 千代水電線共同溝

事業費220百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

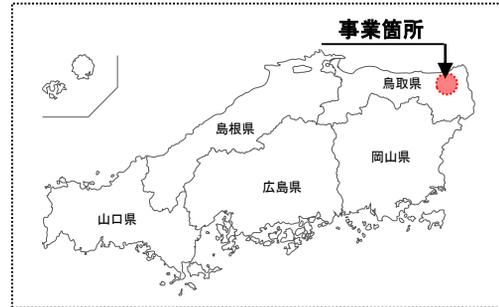
千代水電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市徳尾～同市千代水

3. 令和6年度 予定事業内容

調査設計、本体工事、引込・連携設備等を推進します。



平面図



現況写真



4. 期待される整備効果

《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。

《イメージ図》

